



【国産タバコはひと箱 70 パーツ（250 円）タイ人にとっては高価】

定検期間中には、対応のため毎日通う発電所である。

この発電所構内には、いくつかの喫煙場所があり、その一つがここ。

木陰の中のログハウス、ゆったり座って、話も弾む、憩いのひと時。

しかし、喫煙者にとっては形見が狭く、プレッシャーも大きい、このご時勢。

ここタイも例外ではない。

手前の方をご覧ください。

私が左手で掴み、この画面の中に押し込んだ。

パッケージに表示することが義務付けられている喫煙による惨い病状の実態。

奇しくも、この日（10 月 31 日）の夜はハロウィーンである。

帰宅したホテルのイベントホールでは仮装パーティが行われていた。

そこには、切られた腹部から腸まで飛び出したおぞましい姿も登場。

しかし、真実を越える恐怖はない。